

2021年度  
第51次

# 京都市教育研究集会

主催：京都市教育研究集会実行委員会  
お問い合わせ：京都市教職員組合  
075-771-9171

テ  
ー  
マ

## コロナ禍で大切にする 子ども・学校・教育とは…

人間らしい成長・発達を保障する学校・地域づくりを！

全体会

10月22日(金)18:30~21:00

京都教育文化センターホール

- ・実行委員会よりあいさつ
- ・基調報告
- ・実践報告 「オマールさんから平和を学ぶ」
- ・記念講演 平野 啓一郎 さん (19:00~20:30)  
「いま、教育従事者に語りたいこと」
- ・質疑応答

分科会

10月23日(土) 京都教育文化センター

- ・学年別分科会 09:30~12:30
  - ・課題別分科会 13:30~16:30
- ※ 裏面参照



全  
体  
会  
記  
念  
講  
演

講演テーマ「いま、教育従事者に語りたいこと」

講師：ひらの けいいちろう  
**平野 啓一郎 さん**

(芥川賞受賞作家)

<プロフィール>

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。  
京都大学法学部卒。

1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。

著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』、『本心』等、エッセイ・対談集に『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『「カッコいい」とは何か』等がある。



### ●参加申込み●

京都市立幼・小・中・支援学校

学校以外の方の申込みはこちら

の教職員はこちら(無料)

参加協力金500円が必要です

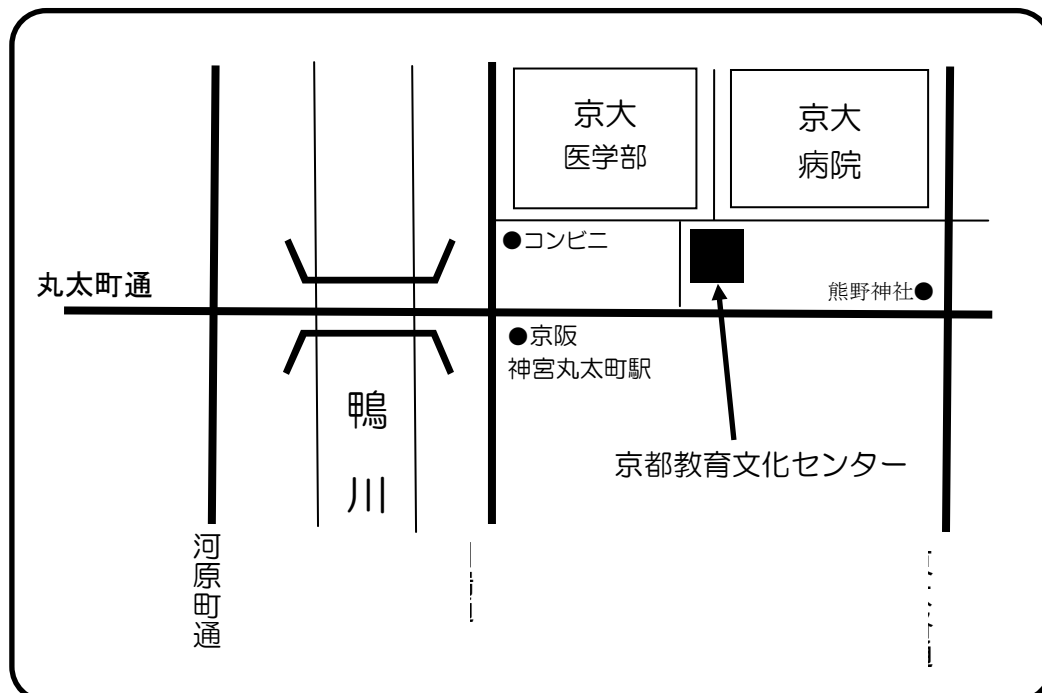


QRコードを読んで  
← グーグルフォームから →  
申し込んでください！  
リモート参加も選択できます



### 会場案内

京阪神宮丸太町駅東へ徒歩5分、市バス熊野神社前西へ徒歩5分



このコロナ禍の教育研究集会で  
一緒に考えたいこと…よびかけ

●最近、日本の教育政策や学習指導要領は、「文部科学省」ではなく、効率主義と自由競争(新自由主義)の下で「経済産業省」が主導しています。目的は「公教育」を市場として開放し、IT産業・教育産業が参入して、巨額の利益を得ることにあります。

●コロナ禍で教育活動を止めないようにするために、前倒しが急に決まり、国の補正予算でにわかに導入されたGIGA 端末ですが、AIがいろんな商品に導入されている今の時代、ツールとしての有効な活用方法は、これもまた多様です。ただ、急に導入されたので、授業中の有効な使用場面、健康や発達に与える影響、財源の持続の問題、リモート授業への活用などについて、教職員で十分に議論をする間もなく、研修したのだからとにかく使うとなってはいますが、教育現場では実際問題模索状態となっており、大きな課題の一つとなっています。

●この教育研究集会では、コロナ禍で感染対策で実践に制約を受けながらも、様々な工夫で子どもたちの現状に寄り添った実践を持ち寄って、工夫の方法、成果、課題について、レポートや参加者で深く議論して、意見交流が深まりますよう、参加を呼びかけます。

教職員に限らず、教育運動団体や、大学関係者、教育に関心のある市民にも開かれた教育研究集会です。ふるってご参加下さ



一人の教育実践を  
みんなのものに！